

# 第1回浪江町子ども議会を開催



11月7日(火)、浪江町教育委員会では、町議会の仕組みを学び、未来を担う子どもたちの主権者教育の一環として、「浪江町子ども議会」を開催しました。  
開催にあたって、なみえ創成小・中学校では、総合的な学習の時間において「ふるさとなみえ」「わが町なみえ」の学びを深め、学習で得た成果や疑問に思ったことを、議会で質問しました。



一般質問を見守る子ども議員



水素エネルギーを活用した震災への備えを提言



一般質問を終えて、笑顔の小学生議員



子どもの視点から町の未来を問う



浪江町の未来を担う、中学生議員

**未来を語り育み  
町への夢が広がる  
まちづくりの一步へ**

一般質問に対し、吉田栄光町長や山本邦一副町長、成井祥副町長、笠井淳一教育長をはじめ、各課の課長が「実現に向けて、考えていきたい」などと答弁しました。

議長の菅野凛さんが第1回浪江町子ども議会を閉会し、児童生徒の皆さんには、まちづくりへの関心を高め、これからの町のあり方や政治を考えるきっかけとなる有意義な時間に、大人たちにとっては新たな発見につながる機会となりました。



子ども議会の開会を宣言する議長の菅野凛さん

- 場所 浪江町役場4階 議場
- 子ども議員数および選出方法  
議員 小学校5、6年生(18人)および中学校1～3年生(25人)の合計43人  
議長 議員の中から1人を選出  
一般質問者 8班編成のうえ、各班代表者2人=計16人

## 子どもたちの夢とまちづくりへの期待が響く

13時、緊張した面持ちで議場に入場してきたのは、なみえ創成小学校の5、6年生、中学生の議員たちです。  
緊張感のある雰囲気の中、自分の氏名票が立てられた議員席に着席していき、議長の菅野凛さんが議会の開会を宣言すると、議員席に座る子ども議員は、自分たちで考えたまちづくりに関する一般質問を行いました。  
一般質問では、普段の私生活で感じていることから町全体、世界規模の質問などを堂々と述べていました。子ども議員の中には、イラストを用いたまちづくりへの提言や、地域活性化を進める意見やアイデアとともにSDGsなどの環境配慮への提案もありました。

**未来を担う子ども議員  
子どもの視点から  
まちづくりへの提言**

※SDGsとは世界のさまざまな問題を根本的に解決し、すべての人たちにとってより良い世界を実現するために設定された、世界共通の17の目標です。

一般質問および答弁の一覧はウェブへ



### 令和5年11月7日 子ども議会一般質問一覧表

通告順	質問事項	質問者	答弁者
1	浪江町にプールをつくる予定があるか リサイクルストアを作って欲しい	【小学5年生】 1班	生涯学習課長 産業振興課長
2	町の道路を通りやすくしていただきたい 防犯対策を強化して欲しい	【小学5年生】 2班	建設課長 建設課長
3	請戸漁港の漁師の人数不足解消について ネット環境の最適化について	【中学1年生】 4班	町長 企画財政課長
4	棚塩の牧場について スクールバス運行の方向性について	【中学1年生】 5班	農林水産課長 教育長
5	小さい子から老人まで幅広い世代が交流しながら遊べる、多目的公園について 若者から高齢者まで安心して暮らせるために総合病院を設置して欲しい	【小学6年生】 3班	町長 町長
6	ドライブスルー店舗の建設について 水素エネルギーをより活用した震災への備えについて	【中学2年生】 6班	産業振興課長 総務課長
7	今後、浪江町には高等学校などの設置、または学習塾など子どもが安心して学習できる環境が整備されるのか伺いたい 浪江町に住む若者が少ないことについて	【中学3年生】 7班	教育長 山本副町長
8	浪江町駅前が大規模に改修されることについて 就学支援金制度の内容とその期間について	【中学3年生】 8班	成井副町長 教育総務課長



堂々とした一般質問



イラストを用いて、まちづくりへの夢を町長に提言



実際の議会さながらの答弁をする吉田栄光町長